



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.24

今年の夏は厳しかったですね。じりじりとする暑さがだらだらと続き結構まいっている方も多いのではないのでしょうか。台風も早くから到来したり、灼熱の日が続いたり。これは地球温暖化の影響のようで、冬の南半球オーストラリアでも27、28度の日が続いたようです。本当にやっかいな話ですね。

さて、この暑さにもめげず、8月16～18日、ほしば歯科医院は移転をいたしました。移転日にすべて診療所が出来ていたわけではないため工事と同時進行で行いました。引越し作業中は「これで19日から開業できるのか？」と不安になったりもしましたが、そこはやはりプロですね。予定通り新規開業することが出来ました。

開業にあたっては、皆様からお花をいただいたりお祝いを言っていたりいたしました。本当にありがとうございました。

移転が決まったのは6月、その後本当に慌ただ



しい日が続
き、今、数
ヶ月ぶりに
落ち着きを
取り戻しつ
つあります。
私たちが
「ハード」
に負けない
「ソフト」
作りに力を

入れていきたいと思っています。

ところで皆さん、新しい診療室の感想はいかがですか？ 以前の診療室の方が南向きの窓があったにもかかわらず、新診療所のほうが「明るい」と言っていた人が多いようです。また、麻痺によって歩行が少し困難な方に、「1階になって良かったよ。楽になった。」と言っていたきました。まさに私たちが目指していたところだったので本当にうれしく思いました。その他にもMさんからは、「靴べらないよ～」。さっそくご用意いたしました。

これからも皆さんの声を形にしていきたいと

思っていますのでよろしくお願いいたします。



噛む話



先日、ある患者さんと次のような会話がありました。

「最近左側で噛んでないでしょう。」

「何で分かったんですか。」

「それはプロですから。」

「へ～、さすがだねえ。」

実は、プロでなくとも分かる証拠が残っていたのです。左側の歯の噛む面（歯の上の部分）に歯石がベトリくっついていたので。歯石は、歯と歯ぐきの境目などには多くつきますが、上の部分に付くことはほとんどありません。なぜこの方には付いていたかと言うと、そこで噛んでいないために汚れが取れなかったのです。

そもそも、人間の歯だって歯並びが正常で天然のものを加工せずに食べていれば歯磨きの必要はありません。しかし、現代の食事は味覚や視覚を刺激したり、「食べやすさ」を追求するために多様な加工がしてあります。この加工と引き換えに歯ブラシが必要になったのです。なぜかと言うと、硬いものや噛み切りにくいものを何度も噛んでいると口の中の汚れは洗い流されてしまうのですが、ハンバーグなどに代表される現代食ではほとんど噛まなくても飲み込むことが出来るようになったために、歯ブラシをして汚れを取り除かなくてはならなくなったのです。

このように、よく噛むことで汚れが取れることも素晴らしい効果なのですが、最近では便通との関係が証明されています。当院でも寝たきりの高齢者の訪問診療を実践していま



すが、これまで入れ歯がなかった人が入れ歯を作って噛めるようになった時、ご本人や介護者に一番感謝されるのは便通が良くなることです。これは、噛むことによって腸の動きが活性化されるということでも証明されています。

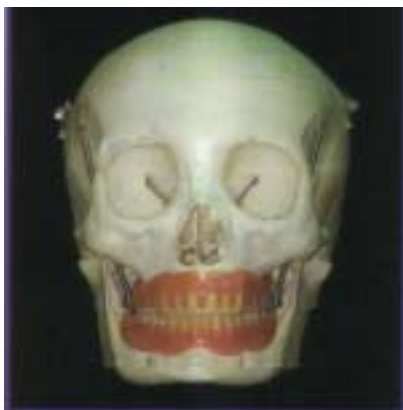
先日、ニュースで家出少女のインタビューをしていました。アナウンサーが「お母さんの料理が恋しくなったりしないの?」と聞くと、「別に。だってマックとかあるし。」と答えていました。親の顔を見たいとは思いませんでしたが、口の中は見せて欲しいと思いました。

✧ 入れ歯の話 ✧

入れ歯は何のためにあるか?と聞かれればもちろん「噛むため」です。しかし、それ以外にも意外な効用があるのでここでご紹介しましょう。



入れ歯と一口にいても総入れ歯と部分入れ歯では大きな差があるので、今回は総入れ歯を想定してください。入れ歯を外している方の顔を見たことがありますか? 30歳代以上の方であれば「くしゃおじさん」という名前で一世を風靡した方の顔を思い出してみてください(とあるところの方はどうされているのでしょうか)。口元がすぼまり、深いしわが



顔全体に広がり、顔の下半分が異常に短い形態になってしまいます。このような状態でも、入れ歯を入れるとすぐに直ってしまうのです。

人間は、上の歯と下の歯が接触するところで下顎(したあご)の位置を固定しているのです。したがって、上下の歯が接触しない状態になってし

まうと、顔の<高さ>が維持できずに異常な顔つきになってしまうのです。また、下顎が自分の居場所を見つけられなくなり「フガフガ」してしまい、顎をずっと動かしている人もいます。

このようなことにならないためにも歯が抜けてしまったら必ず入れ歯を入れるようにしてくださいね。もちろん慣れるまでは大変だと思いますが。

入れ歯のトピック

ほしば歯科医院では、先月から「ノンクラスプデンチャー」を導入しました。部分入れ歯で金属の針金が付いていない入れ歯です。材質自体に弾力性があり、これまでの入れ歯のイメージとは違うかもしれません。設計上製作できるケースは限られますが、ご興味があればお声をかけてください。

金額も設計によって異なりますが、10~15万円です。

ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771 (院長直通)

e-mail hoshiba@ain.co.jp (干場)

tomogoto@ra2.so-net.ne.jp (五島)

編集後記

この夏は本当に暑かったですね。ようやく終わったかと思うとちょっと寂しい気がします。

さて、診療室が1階に移ったことで気づいたことがあります。皆さんも入りやすくなったとは思いますが、私たちも皆さんとの距離が縮まった気がするのです。

環境が変わると学ぶことも多いですね。

ほしば歯科医院ニュースレター 第24号
発行日 2002年9月20日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-13-7
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771
e-mail. hoshiba@ain.co.jp
発行責任者 干場貴二